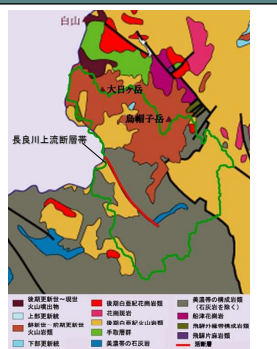


6.個別計画

(4)奥美濃山系砂防総合整備計画

【奥美濃山系の特性および課題】

- 【奥美濃山系全体の特性】
- 山系の大部分が急峻な山岳地帯あるいは高原で、長良川上流断層帯が分布するなど、土砂災害が発生しやすい地域である。
 - 土砂崩れや雪倒木による流木災害の発生が懸念される。
 - 土砂災害が発生しやすい山麓部に人家が集中している。
 - 市街地における効率的な土砂災害対策と山間部における流木災害対策が課題である。



ハード対策の課題

- 防災上の重点施設を明確にした効率的なハード対策が必要。特に、郡上市八幡町市街地で山麓部に避難所が多く存在。
- 住民の自然環境に対する意識が高く、ハード対策実施時には環境への配慮が必要。
- 災害による被害を軽減するための流木対策が必要。
- 緊急輸送路等の重要交通網を保全するハード対策が必要。

ソフト対策の課題

- 洪水と併せた土砂災害警戒区域の明確化・周知および警戒避難体制の整備が必要。
- 要配慮者の警戒避難体制の整備が必要。
- 孤立化のおそれがある集落に対する対策検討が必要。
- 流木災害を抑制するために森林の適正な管理が必要。

その他の地域

【特性】

- 孤立化が予想される集落が多数存在する上、災害時に支援を必要とする高齢者の人口割合が高い。
- 土砂崩れや雪害の倒木により、流木を伴う土砂災害が懸念される。
- 自然環境を活用した観光資源が豊富。

【課題】

- 高齢化が進む中山間地でのソフトとハード対策の連携による減災対策の推進
- 土砂災害対策と流木災害対策
- 環境に配慮した施設整備の推進

中心地域

【特性】

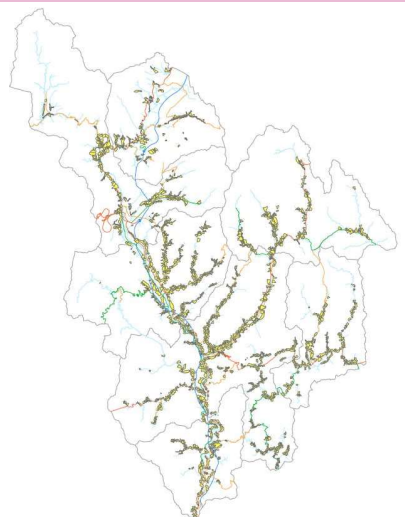
- 避難所や要配慮者利用施設が多数存在する。また、土砂災害警戒区域が集中して分布する地域である。
- 国道 156 号、東海北陸自動車道、長良川鉄道などの重要交通網・緊急輸送路沿いに土砂災害警戒区域が分布する。
- 土砂災害に加え、洪水の危険性も懸念される。
- 自然環境に配慮した整備への要望が高い。

【課題】

- 市街地における効率的な土砂災害警戒区域の対策の推進
- 緊急輸送路等の重要交通網の保全
- 洪水と併せた総合的なソフト対策の推進
- 環境に配慮した施設整備の推進



▲土砂災害警戒区域を横断する重要交通網



▲土砂災害警戒区域の分布状況

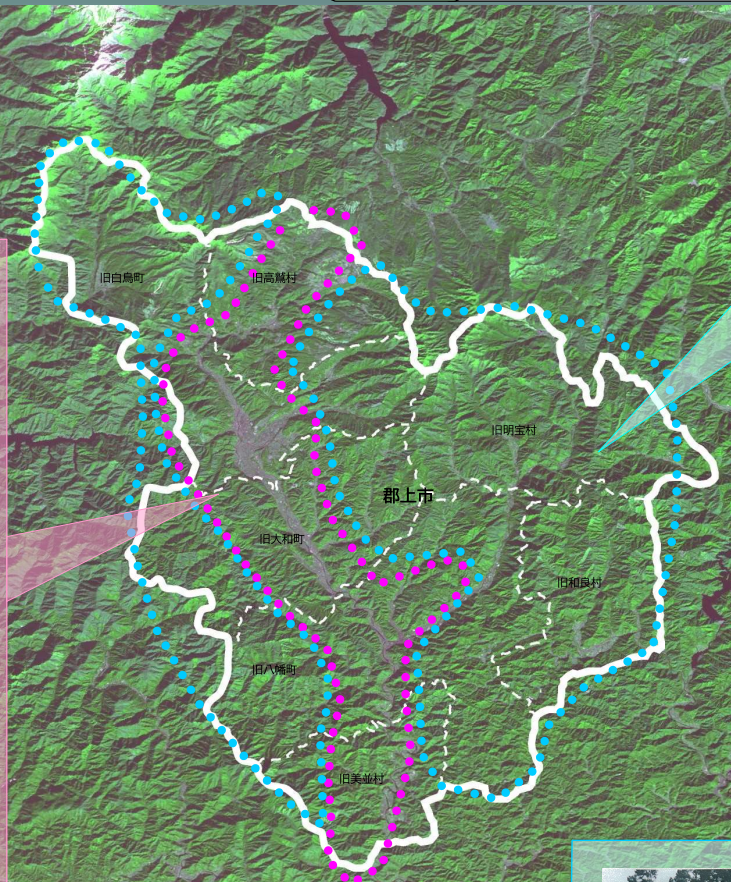


昭和49年



令和5年

▲土地利用の変遷



▲平成11年9月15日豪雨災害/郡上市白鳥



▲平成14年雪害/郡上市八幡町



▲吉田川の釣り人

出典：岐阜県ランドサット画像
(岐阜県図書館世界分布図センター所蔵)

2) 防災教育・学習

【整備目標期間】 R5 R10 R15 R25

- ① 小中学生を対象とした土砂災害に関する教育の実施
 - 砂防ボランティア等の協力を得ながら、「総合的な学習の時間」の支援、「出前講座」の実施、「親子見学会」の開催など、将来を担う次世代への防災教育、防災学習を行います。
- ② 地元防災リーダーの育成
 - 地域の防災力を向上させるため、地域の防災リーダーを育成します。また、消防団等の自主防災組織における活動を支援します。
- ③ 行政職員・福祉関係者を対象とした勉強会の開催
 - 土木、防災、福祉担当部局などの行政職員および介護保険事業者などの福祉関係者を対象に、土砂災害に関する勉強会を継続的に開催します。
- ④ 適切な避難に向けた防災学習
 - 豪雨時に行政等から提供される情報や自宅周辺での前兆現象を理解し、土砂災害発生時の危険性を予測し確実な避難を行うために、日頃から土砂災害や警戒避難に対する知識を高めます。
- 3) 広報活動
 - ① 土砂災害や砂防事業に関するイベントの開催
 - 土砂災害や砂防事業を身近なものとして、住民に興味を持ってもらえるように、土砂災害防止月間を中心にイベントを開催します。
 - ② 土砂災害の伝承
 - 奥美濃山系では、昭和56年梅雨前線豪雨災害や、平成11年9.15豪雨災害、平成30年7月豪雨など、たびたび大きな災害に見舞われています。こうした災害についての貴重な体験等を大切に、災害に関する資料を整理・公表するとともに、できるかぎり体験者の生の声を後世に伝えていきます。

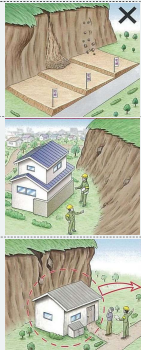
住民・市・県				
住民・市・県				
市・県				
住民・市・県				
市・県				
住民・市・県				

3. 土砂災害に対する安全な県土づくり ～土砂災害を未然に防ぐために～

(1) 土砂災害特別警戒区域の適正な土地利用への誘導

【整備目標期間】 R5 R10 R15 R25

- ① 特定の開発行為に対する許可制による立地抑制
 - 土砂災害特別警戒区域においては、住宅地分譲や要配慮者関連施設の建築のための開発行為は基準に従ったものに限って許可します。
- ② 建築物の構造規制
 - 土砂災害特別警戒区域において、居室を有する建築物を新築または改築する際には、作用すると想定される衝撃に対して建築物の構造が安全であるかどうか建築確認をします。
- ③ 既存不適格住宅の移転の支援
 - 土砂災害特別警戒区域内の著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者に対し、移転等の勧告が図られます。また、住宅の移転に対しては「住宅金融支援機構の融資」等を活用して支援します。建築物の建替えに対しては土砂災害特別警戒区域内の居住用住宅建替等工事への助成制度を活用して支援します。



県				
県				
市・県・国				
県				
県				
県				

(2) 土砂災害のおそれのある箇所への適正な土砂管理

1) 砂防関係施設整備による土砂災害発生源の拡大防止

- ① 土砂災害発生源箇所および発生のおそれのある箇所における砂防関係施設整備の実施
 - 災害発生予兆時および災害発生時には、緊急に対応をとり、施設を整備します。



▲災害復旧状況(H11.9.15 豪雨災害) (郡上市白鳥町 山切谷)

② 下流域での河床の安定化に向けた土砂流出のコントロール

荒廃した山地を源流域に持つ河川では、そこから流れ出す土砂によって河床が上昇し洪水氾濫が発生し、流域全体にわたって大きな被害をもたらします。このような河川において、上流域で山腹工等により土砂流出を抑制するとともに、既存コンクリートえん堤のスリット化、透過型えん堤の設置などにより、平常時には無害な土砂を下流に流下させ、土砂流出をコントロールします。

③ 流木対策の実施

奥美濃山系では、土砂崩れや雪害などによる倒木が多く現存しています。これらの倒木による流木災害を防ぐため、治山部局等による森林の適正管理とあわせ、砂防堰堤については、流木を捕捉する機能の高い透過構造を有する施設の整備をします。



透過型砂防えん堤の流木捕捉状況 (郡上市八幡町 神奈良川)

【整備目標期間】 R5 R10 R15 R25

④ 環境に配慮した砂防関係施設整備の推進

平成8年度策定の「溪流環境整備計画」に基づき、緑あふれる環境を保全するとともに、地域住民等の参加により、うるおいのある溪流環境を創造・利用します。既設魚道の点検を実施し、対策が必要な魚道の補修等を実施することにより、魚道の機能を回復・改善します。



▲既設砂防えん堤の魚道整備(郡上市明宝 坂本)

2) 砂防指定地等の適正な管理

- ① 砂防指定地内行為等の許可制による行為規制
 - 土砂災害を未然に防止するため、砂防指定地、急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域内において土砂災害の発生を助長させるような行為は、基準に従ったものに限って許可を行います。
- ② 砂防指定地等の指定区域を周知する看板の設置
 - 土砂災害の発生のおそれがある土地を知らせるため、法規制区域(砂防指定地、急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域)、土砂災害警戒区域等において、現地に標識を設置します。
- ③ 不法行為の監視
 - 土砂災害を未然に防止するため、土砂災害の発生を助長させるような不正な行為が行われないように、指定区域を監視します。
- ④ 砂防指定地等区域の追加、見直し
 - 土砂災害を未然に防止するため、砂防指定地等区域の追加指定、見直しを実施します。
- ⑤ 土砂災害警戒区域の点検
 - 土砂災害から生命・身体をできる限り守るため、土砂災害警戒区域等に対し日常的に点検をおこないます。また土砂災害防止月間にあわせて、地域住民、市、県が合同で土砂災害警戒区域に対する合同パトロールを実施します。
- 3) 森林の適正な管理
 - ① 間伐の推進
 - 奥美濃山系では、災害に強い森林づくりを進めるため、間伐が計画的に行われています。砂防事業では、間伐材の使用に努め、間伐の推進に協力します。

(3) 大規模災害への対応

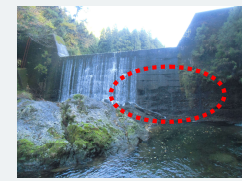
- ① 緊急輸送道路を保全する砂防関係施設整備の実施
 - 災害時に救急活動等に必要な人員及び物資の輸送ができるよう、砂防関係施設を整備し、緊急輸送道路を保全します。
- ② 集落を保全する砂防関係施設整備の実施
 - 災害時に被害が甚大となる集落が、土砂災害警戒区域に存在する箇所を対象に砂防関係施設整備を検討します。

(4) 砂防関係施設の適正な維持管理

- ① 岐阜県砂防関係施設長寿命化計画に基づく維持管理の実施
 - 県は、既に整備された砂防関係施設が適切に機能を発揮するように、適正な維持管理を行い機能の確保に努めます。劣化損傷が進行した段階で補修を実施してきた従来の事後保全的な維持管理から、計画的な定期点検による劣化損傷の早期発見及び軽微な段階での補修を実施し、予防保全的な維持管理を図ります。

② 既存砂防えん堤の除石等の実施

県は、既存砂防えん堤の機能が適正に発揮されるよう、既存えん堤の除石や伐採を実施します。また、出水等により異常地砂がみられた場合は速やかに除石等を実施します。



▲ 既設砂防えん堤の劣化状況 大洞川(郡上市)

(5) 流域治水(砂防)の推進

- ① 土砂・洪水氾濫対策の実施
 - 県は、土砂・洪水氾濫のリスクの高い流域を抽出し、人家や道路・鉄道等の重要なネットワークインフラ等の立地状況やまちづくり計画等を踏まえたうえで、下流の市街地に対し、効率的な施設配置計画を策定していきます。
- ② 流域流木対策の実施
 - 県は、流域全体の流木被害を防止・軽減するため、林野事業と砂防事業が対策の実施に向けて情報共有等連携を図ります。
- ③ 土砂災害リスクを踏まえた防災まちづくりの実施
 - 県は、市や都市部局と連携し、防災まちづくり(安全な場所への居住)や、ハザードマップの作成・周知、避難訓練、警戒避難体制の整備に対する支援を実施していきます。

県				
県				
県				
住民・市・県				
県				
住民・市・県				
住民・市・県				
県				
住民・市・県				
県				
住民・市・県				
県				
市・県・国				
県				
県				
市・県・国				